

新卒採用戦線

総括

BUNKAHOSO CAREER PARTNERS

2018

BUNKAHOSO
Career  Partners

株式会社 文化放送キャリアパートナーズ
就職情報研究所

2018年卒採用 採用戦線総括

新卒採用戦線 総括 2018

2018年新卒採用戦線総括 目次

調査概要

■【学生】就職活動動向

- 06 1 就職を意識し始めた時期
- 2 志望企業決定時期
- 07 3 キャリアセンターの活用
- 4 自己分析/企業研究
- 08 5 就職活動が生活に占める割合
- 6 第一志望の業界
- 09 7 解禁前の活動状況
- 8 エントリー・資料請求
- 10 9 学内セミナー
- 10 オープンセミナー
- 11 11 選考セミナー
- 12 セミナーで期待するプログラム
- 12 13 OB・OG訪問
- 14 リクルーターとの接触①
- 13 15 リクルーターとの接触②
- 16 エントリーシート提出
- 14 17 一次面接
- 18 "ジョブマッチング"・"面談"について
- 15 19 内定(選考解禁日基準)
- 20 複数内定・活動終了状況
- 16 21 内定承諾
- 22 未内定学生の活動

■【学生】職業観と就活事情

- 18 1 就職後のキャリアプラン
- 2 将来のビジョン(理想年収・職業観)
- 19 3 魅力を感じた企業価値
- 4 魅力を感じた仕事価値
- 20 5 企業価値と仕事価値の重視するバランス
- 6 P R する力
- 21 7 【比較】学生がP R する力/企業が求める力
- 8 自己P R で伝えた長所
- 22 9 企業規模へのこだわり
- 10 性別・大学名による就職格差
- 23 11 不快に感じた企業の対応
- 12 就職活動の反省点
- 24 13 就活相談の相手
- 14 就職活動の費用

■【企業】採用活動動向

- 26 1 採用予定数の増減
- 2 採用予算の増減
- 27 3 プレエントリー数の増減
- 4 学内セミナーへの参加状況
- 28 5 合同セミナー参加回数の増減
- 6 会社説明会実施回数の増減
- 29 7 会社説明会の形式
- 8 リクルーター制度の導入
- 30 9 エントリーシート受付数の増減
- 10 エントリーシート締切時期
- 31 11 選考方法
- 12 内定時期
- 32 13 内定者フォロー・内定者教育
- 14 内定辞退
- 33 15 採用満足度
- 16 内定学生についての感想
- 34 17 欠けている社会人基礎力

■【企業】採用戦略

- 36 1 新卒採用市場
- 2 新卒採用における「量」と「質」の確保
- 37 3 PRしたい企業価値
- 4 PRしたい仕事価値
- 38 5 採用形態
- 6 理工系学生の採用
- 39 7 既卒者の扱い
- 8 グローバル採用
- 40 9 TOEICなどの評価
- 10 今年の採用活動を振り返って

■インターンシップ

- 42 1 【学生】インターンシップ参加状況
- 2 【学生】インターンシップ参加時期・期間
- 43 3 【企業】インターンシップ実施状況
- 4 【企業】インターンシップ実施時期・期間
- 44 5 【企業】インターンシップPR方法
- 6 【企業】採用選考との関連
- 45 7 【学生】印象に残ったインターンシッププログラム
- 8 【企業】今後のインターンシップ実施予定

■指針の振り返り・19卒の展望

- 47 1 【企業】「指針」で就活・採用はよくなったか
- 2 【企業】「指針」で就活・採用はよくなったか(コメント)
- 48 3 【企業】「指針」の評価・見直し
- 4 【企業】選考時期・内定時期の動向予測
- 49 5 【企業】3月広報解禁の遵守意向
- 6 【企業】6月選考解禁の遵守意向
- 50 7 【企業】より有効になると思う採用手段

2018年卒採用 調査概要

新卒採用戦線 総括 2018

【学生調査】

学生就職活動調査

性別	男性	女性	総計
文系	145	227	372
理系	68	59	127
総計	213	286	499

調査主体：文化放送キャリアパートナーズ 就職情報研究所
調査対象：2018年春就職希望の「ブンナビ！」会員大学生・大学院生
調査方法：文化放送キャリアパートナーズ運営の就職サイト「ブンナビ！」上でのWebアンケート
調査期間：2017年7月15日～7月31日
有効回答数：499名

(月例)学生アンケート

調査主体：文化放送キャリアパートナーズ 就職情報研究所
調査対象：2018年春就職希望の「ブンナビ！」会員大学生・大学院生
調査方法：Webアンケート
調査期間：2016年2月から2017年7月まで毎月定期的実施
有効回答数(延べ)：4,187人

就職ブランドランキング調査

調査主体：文化放送キャリアパートナーズ 就職情報研究所
調査対象：2018年春入社希望の「ブンナビ！」会員 (主に現大学4年生、現大学院2年生)
調査方法：「ブンナビ！」上でのWebアンケート、就職イベント会場での紙アンケート、就職雑誌同送ハガキアンケート
調査期間：(前半) 2016年12月1日～2017年3月31日
(後半) 2017年4月1日～2017年7月31日
回答数：(前半) 16,851 (うち男子6,223、女子10,628/文系14,155、理系2,696)
(後半) 6,201 (うち男子2,449、女子3,752/文系4,962、理系1,239)

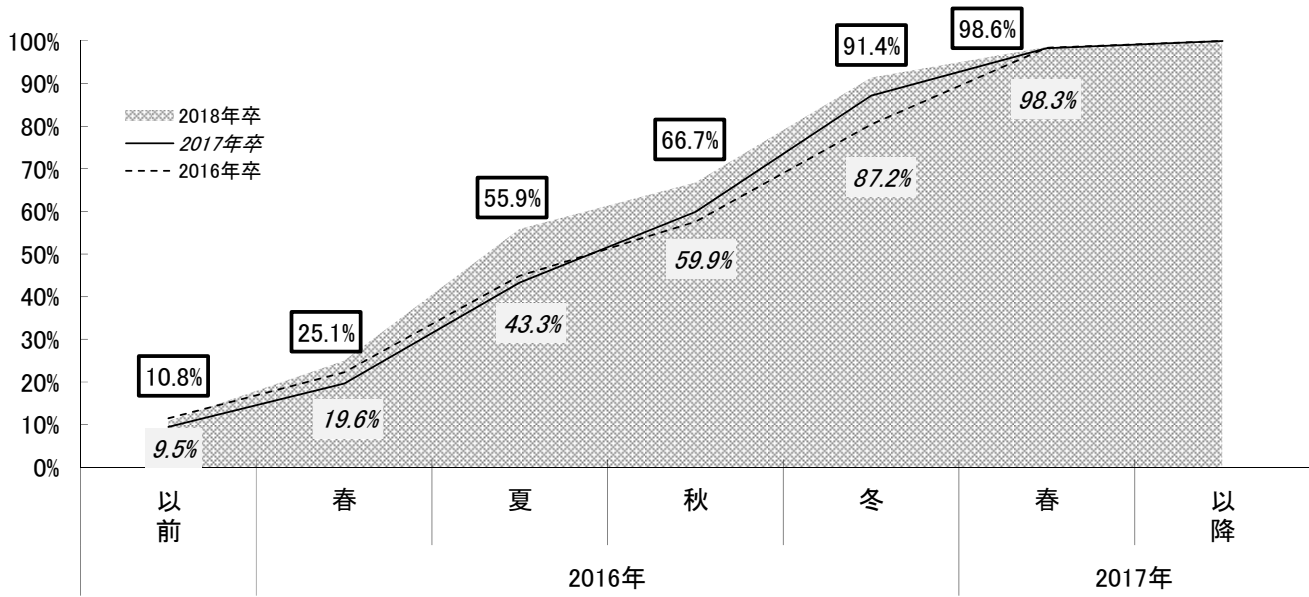
【企業調査】

企業採用動向調査

調査主体：文化放送キャリアパートナーズ 就職情報研究所・東洋経済新報社『週刊東洋経済』 共同調査
調査対象：上場企業を中心とした主要企業
調査方法：Webアンケート
調査期間：2017年7月18日～8月3日
有効回答数：118社
(内訳：メーカー55.1%、商社5.9%、流通2.5%、金融10.2%
マスコミ5.1%、情報・通信6.8%、サービス14.4%)

【学生】就職活動動向 2018

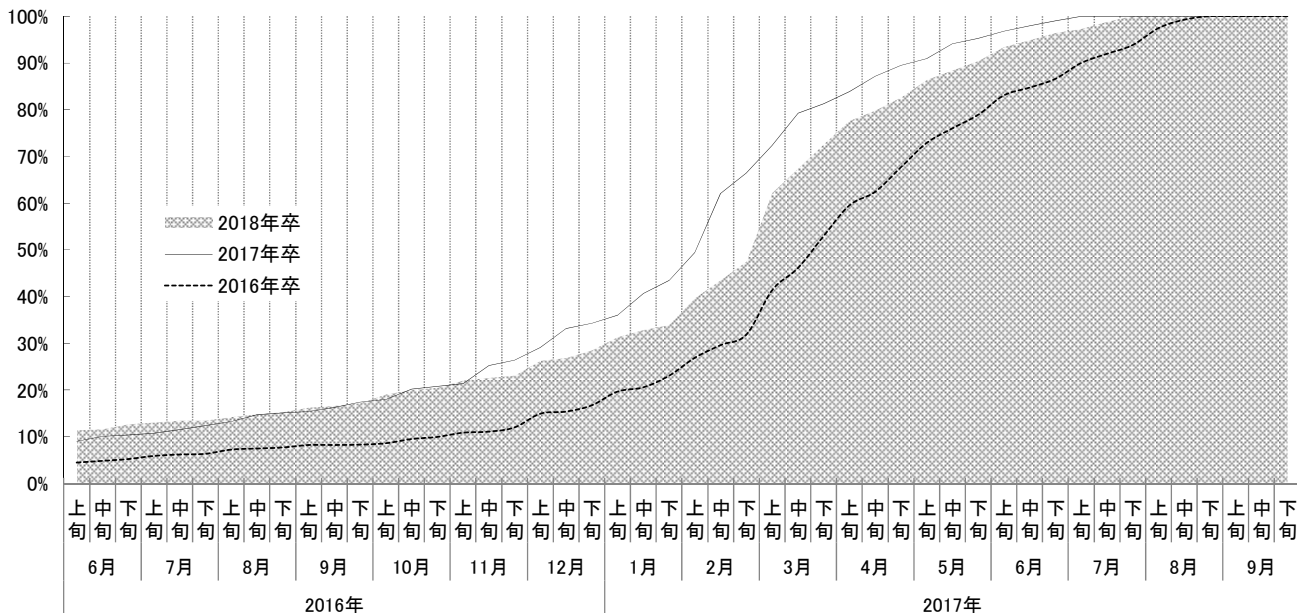
就職を意識し始めたのはいつごろでしたか？



夏インターンシップで意識の高まりは早期化！

大学3年夏に前年(17卒)を大きく上回っている(17卒43.3%、18卒55.9%、前年比12.6Pt増)。夏インターンシップがきっかけとなって、就職意識の高まりを早めたと考えられる。冬には9割を超え、ほとんどの学生が就職を意識している。ハイペースな意識の高まりは、就職活動の各ステップにどんな影響を与えたのだろう。以降、ステップ毎の様子を詳しく見ていく。

志望企業はいつごろ決めましたか？

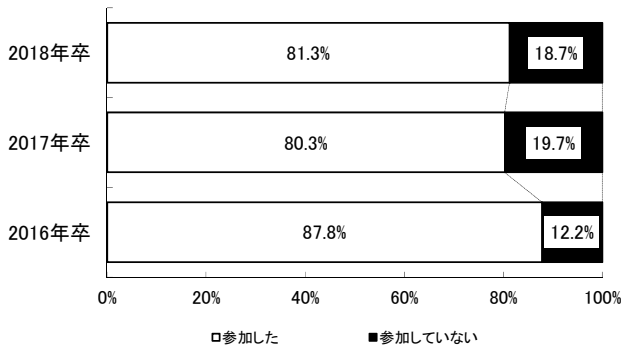


前年と比べて、志望企業の決定はスローペースだった！

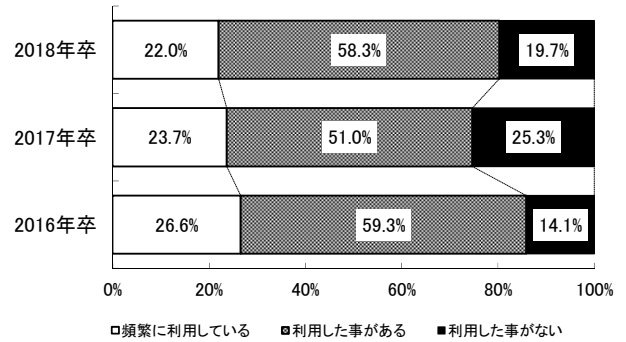
6～7月では、前年を僅かに上回っている。インターンシップ先を選ぶ過程で、志望企業が定まっていっただろう。その後は停滞し、11月以降は前年を下回るペースとなった。就職を意識しつつも、志望企業の決定はあまり進まなかったようだ。2月に入って、やっと志望企業決定のペースが上がり、3月上旬から中旬にかけて大きく意思決定が進んでいる。しかし全体で見れば、最後までスローペースだったといえる。

学内就職ガイダンスに参加しましたか？
キャリアセンター(就職課)を利用しましたか？

学内就職ガイダンスに参加しましたか？



キャリアセンター(就職課)を利用しましたか？



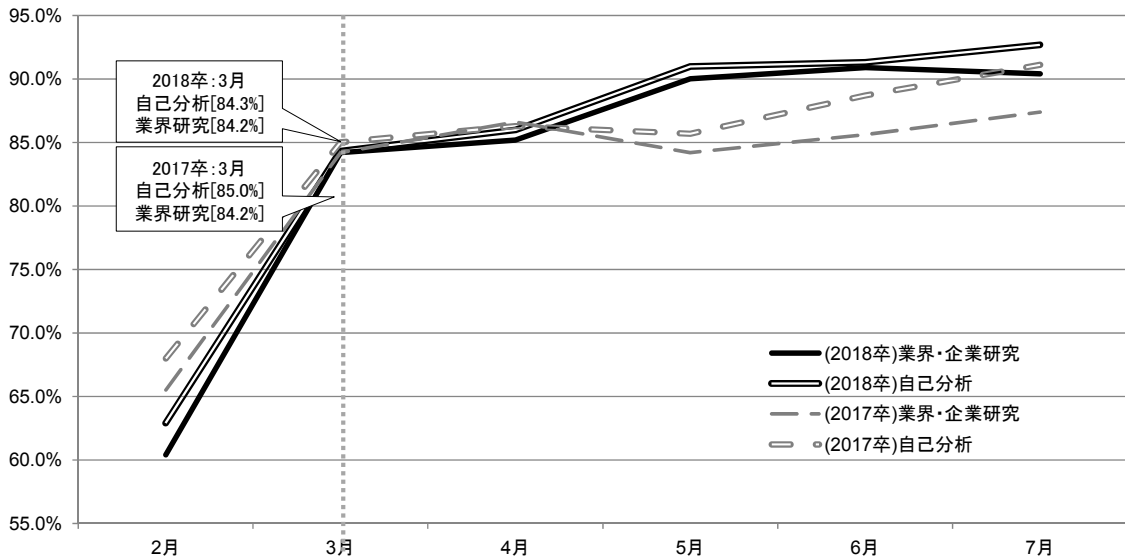
※(月例)学生アンケート2017年5月上旬調査より

就職ガイダンス、キャリアセンター(就職課)の利用は復調傾向

学内就職ガイダンスに参加した学生は81.3%(前年比1.0Pt増)。前年よりも多くの学生が参加した。キャリアセンター(就職課)の利用も、17卒74.7%から18卒80.3%と数字を伸ばした(「頻繁に利用」+「利用したことがある」の合計)。18卒向けの支援プログラムでは、これまでより企業の採用実態に合わせた内容が目立った。学生にとっては、タイムリーかつ有用な支援プログラムになったといえる。

自己分析／企業研究

自己分析、業界・企業研究を行っていますか？



※(月例)学生アンケート2017年2月～2017年7月調査より

自己分析・企業研究とも前半は前年を下回り、後半で逆転！

2月の実線(18卒)とグレー点線(17卒)を比べると、業界・企業研究、自己分析ともに、18卒が下回っている。3月でほぼ同レベル(自己分析/17卒85.0%、18卒84.3%)(業界研究/17卒84.2%、18卒84.2%)に戻したが、4月では僅かに下回った。一転、5月に入ると、大きく上回っている。就職活動の前半は、前年よりも停滞気味にすすみ、後半に入ってスピードを上げ、自己分析や業界研究を進めた様子がうかがえる。